

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00091)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------------------|--------|----|-----|----|---------|-----------|----|--------|---------|-----|-----|------|-----|
| 事務事業名称 | アニメの振興と活用 | | | | 款 | 03 | 項 | 05 | 目 | 01 | 事業 | 003 | 整理番号 | 103 |
| 現担当課名 | 産業振興センター | | 係名 | 観光係 | | 連絡先電話番号 | 5347-9184 | | | 昨年度整理番号 | 101 | | | |
| 上位施策No・施策名 | 06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり | | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | |
| 事業開始 | 平成12年度 | 実行計画事業 | 目標 | 02 | 施策 | 06 | 計画事業 | 05 | | | | | | |
| 令和 2年度担当課名 | 産業振興センター | | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | |

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

| | | | |
|-----------------------------|---|-------|--|
| 対象 | 区民、区外来館者、商店街関係者、アニメ産業関係者 | 根拠法令等 | (1) 杉並区立杉並会館条例 (2) 杉並区公式アニメキャラクター使用取扱要綱 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 杉並アニメーションミュージアムを軸に、区内アニメ制作会社のコンテンツや区公式アニメキャラクター「なみすけ」等を活用し、広域的に来街者を誘致し、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図る。 | 活動指標 | 杉並アニメーションミュージアムの年間開館日数 「なみすけ」等の着ぐるみ延使用日数 |
| 活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | 杉並アニメーションミュージアムを運営する。 アニメを活かした商店街等の振興を図る。 区公式アニメキャラクター「なみすけ」のPR、使用料の無償化による商用利用を促進する。 | 成果指標 | 杉並アニメーションミュージアムの年間来館者数 「なみすけ」商品化許諾件数 |

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

| 区分 | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | | 令和 2年度 | | 令和 3年度 | 令和 2年度 | 令和 2年度 |
|-----------------------|---------------------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---|-----------|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) |
| 活動指標 (1) | 1 日 | 304 | 304 | 283 | 305 | 218 | 306 | 71.5 | 97.4 |
| 活動指標 (2) | 2 日 | 108 | 120 | 87 | 100 | 23 | 80 | 23.0 | |
| 成果指標 (1) | 3 人 | 69,674 | 80,000 | 54,304 | 80,000 | 20,354 | 80,000 | 25.4 | |
| 成果指標 (2) | 4 件 | 38 | 50 | 43 | 50 | 15 | 50 | 30.0 | |
| 事業費 | 5 千円 | 83,327 | 88,702 | 87,738 | 84,022 | 81,854 | 89,030 | 特記事項 | |
| (内) 投資的経費等 | 6 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 杉並アニメーションミュージアムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月9日から6月1日まで、また防火シャッター改修工事のため、令和2年9月1日から14日まで及び11月16日から12月14日まで休館しました。 | |
| (内) 委託費 | 7 千円 | 68,350 | 71,780 | 71,223 | 67,773 | 67,335 | 73,594 | | |
| 職員数 | 8 人 | 2.76 | 2.40 | 2.70 | 2.40 | 3.09 | 2.40 | | |
| 上記以外の職員 | 9 人 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | | |
| 人件費 | 10 千円 | 23,256 | 20,222 | 23,539 | 20,923 | 26,274 | 20,407 | | |
| 上記以外の職員 | 11 千円 | 3,089 | 3,089 | 3,080 | 3,080 | 3,628 | 3,628 | | |
| 総事業費 (5+10+11) | 12 千円 | 109,672 | 112,013 | 114,357 | 108,025 | 111,756 | 113,065 | | |
| 単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1) | 13 円 | 360,763 | 368,464 | 404,088 | 354,180 | 512,642 | 369,493 | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 14 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国からの補助金等 | 15 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 都からの補助金等 | 16 千円 | 2,971 | 3,123 | 3,330 | 0 | 3,290 | | |
| | その他の補助金等 | 17 千円 | 346 | 5,369 | 5,399 | 5,000 | 5,364 | 5,653 | |
| | 特定財源計 (14+15+16+17) | 18 千円 | 3,317 | 8,492 | 8,729 | 5,000 | 8,654 | 5,653 | |
| 差引：一般財源 (12-18) | 19 千円 | 106,355 | 103,521 | 105,628 | 103,025 | 103,102 | 107,412 | | |
| 受益者負担比率 (14 ÷ 12) | 20 % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 103

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費（千円） |
|------|--|----|----|---------|
| 主な取組 | 杉並アニメーションミュージアム運営業務委託 | | | 53,467 |
| | 杉並アニメーションミュージアム建物維持管理委託 | | | 9,591 |
| | 他区連携事業 | | | 4,935 |
| | なみすけの普及 | | | 2,378 |
| | その他（杉並アニメーションミュージアム著作権更新、光熱水費の支出ほか） | | | 11,483 |
| 事業実績 | <p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外観光客の激減や感染症拡大防止等に伴う休館で、前年と比べて約34,000人減少しました。また、「中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業」として、広域的な情報発信を行うとともに、「アニメ・マンガフェス2020in杉並」を11月に開催し、オンライン配信閲覧数と合わせて、前年と同規模の約4,000人の参加がありました。「なみすけ」については、感染症の影響によるイベント中止などに伴い、着ぐるみの延使用日数が前年と比べて64日減少しました。</p> | | | |

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

| | |
|---|--|
| 事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など） | <p>平成12年度に「アニメの杜すぎなみ構想」を策定し、平成17年度に杉並アニメーションミュージアムを開設しました。平成30年度には、杉並アニメーションミュージアムにネーミングライツを導入しています。杉並アニメーションミュージアムは、これまで展示の充実や積極的な情報発信により、杉並の観光拠点として来館者数を増やしてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が大幅に減少しています。</p> <p>区公式アニメキャラクター「なみすけ」は、平成18年度に「すぎなみの輝き度向上」の一環で公募選定しました。平成25年度には、デザイン使用料を無償化して、商品化や地域団体等の使用を促進し、区内において高い認知度を得ています。</p> |
| 事業の今後（3～5年）の予測と方向性 | <p>アニメは、世界に誇る日本の文化として国内外で高い評価を得ており、アニメの振興と活用は、今後も全国各地で取り込まれるものと考えられます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症収束後の国内外観光客数の回復に併せて杉並アニメーションミュージアムの来館者数が増加するよう、施設及び展示の充実等を図って行く必要があります。</p> <p>また、「なみすけ」については、区民に親しまれるキャラクターとして、引き続き積極的な活用を図ります。</p> |
| 計画（目標値）に対する実績（指標の分析等） | <p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外観光客の激減や感染症拡大防止等に伴う休館で、目標を達成できませんでした。</p> <p>また、「なみすけ」の商品化許諾件数は、感染症の影響により、大幅に減少しました。</p> |
| 評価と課題 | <p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外観光客の激減や感染症拡大防止等に伴う休館で、大幅な減少となりました。当面は、国内観光客等を主な対象として、感染症拡大防止策を徹底しながら、安心・安全な施設運営に取り組んでいきます。また、近隣自治体等と引き続き連携しながら、「アニメのまち杉並」の地域ブランディングを進めます。</p> <p>「なみすけ」について、感染症の影響により商品化許諾件数が大幅に減少していますが、Instagramでの商品紹介などにより、更なるデザイン利用の促進や普及に取り組めます。</p> |

令和 4年度の方針（A c t i o n）

| | | |
|----------------|---|---------------|
| 予算の方向性（見直しの視点） | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し（改善） |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>今後の査定状況により別途修正します。</p> <p>杉並アニメーションミュージアムの面積を拡張し、アニメ制作会社に対するPR支援や体験型展示・デジタル展示の充実を図ります。また、感染症拡大防止策を徹底しながら、安心・安全な施設運営を行い、来館者数の増加を目指します。</p> <p>今後も、アニメ制作会社や商店街、近隣自治体等と連携しながら「アニメのまち杉並」としての地域ブランディングを進め、地域のにぎわい創出を図ります。</p> | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00644)

| | | | | | | | | | | | |
|------------|------------------------|--------|-----|----|----|----|------|---------|----------------------|---------|-----|
| 事務事業名称 | 観光促進 | 款 | 03 | 項 | 05 | 目 | 01 | 事業 | 004 | 整理番号 | 104 |
| 現担当課名 | 産業振興センター | 係名 | 観光係 | | | | | 連絡先電話番号 | 5347-9184 | 昨年度整理番号 | 102 |
| 上位施策No・施策名 | 06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | |
| 事業開始 | 平成26年度 | 実行計画事業 | 目標 | 02 | 施策 | 06 | 計画事業 | 04 | 主要事業 (区政経営報告書掲載事業) | | |
| 令和 2年度担当課名 | 産業振興センター | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | |

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

| | | | |
|-------------------------------|--|-----------|---|
| 対象 | 区民、区外来街者 (海外含む)、商店・事業者 | 根拠法令等 | (1) 中央線あるあるプロジェクト実行委員会規約 (2) 東京高円寺阿波おどり振興事業補助金交付要綱 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 杉並区の「良さ」「らしさ」を再発見し、地域の様々な資源を観光コンテンツとして区の内外に広く発信することで、区外からの来街者増を図り、持続的な「まちなぎわい」や、チャレンジマインドのある商店・事業者の「商機」を創出する。 | 活動指標 | 中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数 |
| 活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | 中央線あるあるプロジェクトを推進する。観光事業補助を行う。(東京高円寺阿波おどり) すぎなみ学倶楽部を運営する。観光PR (観光情報発信事業、すぎなみ観光大使事業等) を推進する。杉並魅力創出事業を実施する。図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及を図る。無料Wi-Fiの環境整備を行う。 | 指標名 (1) | すぎなみ学倶楽部掲載頁数 |
| | | 指標名 (2) | |
| | | 成果指標 | 共催イベント集客数 |
| | | 指標名 (1) | 高円寺フェスの来場者数 |
| | | 指標名 (2) | すぎなみ学倶楽部アクセス数 |
| | | 指標説明 | ページビュー数 |

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

| 区分 | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | | 令和 2年度 | | 令和 3年度 | 令和 2年度 | 令和 2年度 |
|---------------------------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|---|-----------|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) |
| 活動指標 (1) | 1 回 | 16 | 16 | 17 | 16 | 14 | 17 | 87.5 | 82.0 |
| 活動指標 (2) | 2 頁 | 220 | 168 | 190 | 258 | 239 | 246 | 92.6 | |
| 成果指標 (1) | 3 人 | 210,000 | 210,000 | 210,000 | 210,000 | 90,000 | 210,000 | 42.9 | |
| 成果指標 (2) | 4 件 | 627,401 | 650,000 | 767,743 | 660,000 | 793,691 | 670,000 | 120.3 | |
| 事業費 | 5 千円 | 63,273 | 61,948 | 60,160 | 62,869 | 51,538 | 60,049 | 特記事項 | |
| (内) 投資的経費等 | 6 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等について、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を縮小したため、予算執行率が90%未満となっています。 | |
| (内) 委託費 | 7 千円 | 16,892 | 16,974 | 15,595 | 17,121 | 15,839 | 14,152 | | |
| 職員数 | 8 人 | 4.25 | 4.60 | 5.48 | 4.60 | 5.39 | 4.60 | | |
| 上記以外の職員 | 9 人 | 1.71 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | | |
| 人件費 | 10 千円 | 35,811 | 38,760 | 47,775 | 40,103 | 45,831 | 39,114 | | |
| 上記以外の職員 | 11 千円 | 5,282 | 3,089 | 3,080 | 3,080 | 3,628 | 3,628 | | |
| 総事業費 (5+10+11) | 12 千円 | 104,366 | 103,797 | 111,015 | 106,052 | 100,997 | 102,791 | | |
| 単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1) | 13 円 | 6,522,875 | 6,487,313 | 6,530,294 | 6,628,250 | 7,214,071 | 6,046,529 | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 14 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国からの補助金等 | 15 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 都からの補助金等 | 16 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | その他の補助金等 | 17 千円 | 2,830 | 4,000 | 3,148 | 0 | 821 | 3,347 | |
| | 特定財源計 (14+15+16+17) | 18 千円 | 2,830 | 4,000 | 3,148 | 0 | 821 | 3,347 | |
| 差引：一般財源 (12-18) | 19 千円 | 101,536 | 99,797 | 107,867 | 106,052 | 100,176 | 99,444 | | |
| 受益者負担比率 (14 ÷ 12) | 20 % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 104

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費（千円） |
|------|--|----|----|---------|
| 主な取組 | 「にぎわい・商機」創出プログラム（中央線あるあるプロジェクト） | | | 33,195 |
| | 観光事業補助（東京高円寺阿波おどり） | | | 2,000 |
| | すぎなみ学倶楽部の運営 | | | 8,148 |
| | 観光PR（観光情報発信事業、杉並魅力創出事業ほか） | | | 8,007 |
| | その他（図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及ほか） | | | 188 |
| 事業実績 | <p>中央線4駅周辺の魅力を発信する「中央線あるあるプロジェクト」では、WEBやSNS等による多様な情報発信を行い、新たに制作したYouTube動画はこれまでで最も多い13.2万回以上の再生回数となりました。また、区民ライターが区の魅力を紹介する「すぎなみ学倶楽部」では、谷川俊太郎氏などの著名人の記事を新たに掲載し、サイトアクセス数は令和元年度比25,948件増の793,691件となりました。その他、NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会と連携して、阿波踊りとプロジェクションマッピングを融合させた新たな観光コンテンツの制作等を行いました。</p> | | | |

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

| | |
|---|---|
| 事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など） | <p>平成24年度に商店街振興を図る観点から都市観光事業の取組を開始しました。平成25年5月には「にぎわい・商機」創出プログラム「中央線あるあるプロジェクト実行委員会」を発足し、平成26年度には新たに専管組織（観光係）を設置しました。</p> <p>近年、訪日外国人旅行者数は増加傾向にあり、令和元年は約3,188万人と過去最高を更新しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年は約412万人と大幅に減少しており、今後の先行きは不透明となっています。</p> |
| 事業の今後（3～5年）の予測と方向性 | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、当面のインバウンドを含めた観光客の動向の先行きは不透明ですが、3～5年後には、観光需要が回復することを見据えて、観光客の誘致を積極的に行っていく必要があります。</p> <p>引き続き「杉並ならではの」魅力ある観光コンテンツを充実させるとともに、積極的な情報発信に取り組みながら、新型コロナウイルス感染症収束後の来街者を増やし、まちのにぎわい・商機を創出していきます。</p> |
| 計画（目標値）に対する実績（指標の分析等） | <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中央線あるあるプロジェクトの新聞PR回数やすぎなみ学倶楽部の掲載頁数が目標値を下回りました。また、「高円寺フェス」について、イベント規模を縮小したほか、事前予約制等により入場制限を行ったため、来場者数が大幅に減少しました。</p> <p>なお、「すぎなみ学倶楽部」では、谷川俊太郎氏などの著名人の記事を新たに掲載し、サイトアクセス数は前年比25,948件増の793,691件となり、目標値を大幅に上回りました。</p> |
| 評価と課題 | <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等の活動が制限されましたが、将来の来街につながる動画の制作や杉並ゆかりの著名人の記事作成など、多様な情報発信を実施しました。</p> <p>令和3年度は、引き続き、WEBやSNSなどを活用した情報発信に取り組むとともに、令和2年度に制作した阿波踊りとプロジェクションマッピングを融合させた新たな観光コンテンツを軸に、街歩きツアー等を実施するほか、オンラインなど新たな形式によるツアー造成等に取り組めます。</p> |

令和 4年度の方針（A c t i o n）

| | | |
|----------------|---|---------------|
| 予算の方向性（見直しの視点） | I 事業コストの方向性 | 縮小 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し（改善） |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>引き続き、民間団体や区民等と協働して、「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等を通じた効果的な情報発信を行い、観光客の誘致につなげます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、観光情報発信事業などのターゲットや媒体等の情報発信内容を見直していきます。</p> | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00364)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------------------|--------|----|---------|----|---------|------|----|----------------------|--------|------|-----|------|-----|--|
| 事務事業名称 | 景観まちづくり | | | | 款 | 05 | 項 | 01 | 目 | 02 | 事業 | 003 | 整理番号 | 372 | |
| 現担当課名 | みどり公園課 | | 係名 | みどりの計画係 | | 連絡先電話番号 | 3593 | | 昨年度整理番号 | 370 | | | | | |
| 上位施策No・施策名 | 06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり | | | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | |
| 事業開始 | 平成元年度 | 実行計画事業 | 目標 | 02 | 施策 | 06 | 計画事業 | 03 | 主要事業 (区政経営報告書掲載事業) | | | | | | |
| 令和 2年度担当課名 | みどり公園課 | | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | | |

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

| | | | |
|-------------------------------|---|--|--------------------------------|
| 対象 | 区民、事業者、区 | 根拠法令等 | (1) 景観法 (2) 都市計画法 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 景観に対する区民の意識を高め、杉並らしい景観づくりに取り組む風土を醸成する。 魅力あるまちなみを創出する。 みどり豊かな杉並のまちを歩くことにより、新しいまちの魅力を見直し、まちに親しみを持つ人を増加させる。 | 活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明 | 景観新聞 (景観録) の発行部数 |
| 活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | ○景観条例、景観計画に基づきみどり豊かな美しい住宅都市を将来にわたり継承する。 杉並景観録の発行や景観まちづくりイベントを開催する。 荻外荘の復原・整備について、杉並区公式ホームページ等による情報発信や、大田黒公園等の周辺施設と連携したイベント等により、機運醸成を図る。 まち歩きのためのすぎなみ景観ある区マップを発行する。 | 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明 | 杉並区のまちを美しいと思う人の割合 区民意向調査による |

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

| 区分 | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | | 令和 2年度 | | 令和 3年度 | 令和 2年度 | 令和 2年度 | |
|---------------------------|-----------------------|--------|--------|--------|------------|--------|--------|----------|-----------|--|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) | |
| 活動指標 (1) | 1 部 | 17,500 | 17,500 | 17,500 | 17,500 | 17,500 | 17,300 | 100.0 | 80.2 | |
| 活動指標 (2) | 2 | | | | | | | | | |
| 成果指標 (1) | 3 % | 79.7 | 83.0 | 78.6 | 84.0 | 80.5 | 85.0 | 95.8 | | |
| 成果指標 (2) | 4 | | | | | | | | | |
| 事業費 | 5 千円 | 4,146 | 6,220 | 4,318 | 6,723 | 5,395 | 5,162 | 特記事項 | | |
| (内) 投資的経費等 | 6 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| (内) 委託費 | 7 千円 | 664 | 1,420 | 1,060 | 1,465 | 1,005 | 552 | | | |
| 職員数 | 常勤職員数 (再任用含) | 8 人 | 2.23 | 2.65 | 1.91 | 1.75 | 1.85 | 1.85 | | |
| | 上記以外の職員 | 9 人 | 0.50 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | |
| 人件費 | 常勤職員分 (再任用含) | 10 千円 | 18,790 | 22,329 | 16,651 | 15,257 | 15,731 | 15,731 | | |
| | 上記以外の職員 | 11 千円 | 1,545 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費 (5+10+11) | 12 千円 | 24,481 | 28,549 | 20,969 | 21,980 | 21,126 | 20,893 | | | |
| 単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1) | 13 円 | 1,399 | 1,631 | 1,198 | 1,256 | 1,207 | 1,208 | | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 14 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国からの補助金等 | 15 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 都からの補助金等 | 16 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | その他の補助金等 | 17 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 特定財源計 (14+15+16+17) | 18 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 差引：一般財源 (12-18) | 19 千円 | 24,481 | 28,549 | 20,969 | 21,980 | 21,126 | 20,893 | | | |
| 受益者負担比率 (14 ÷ 12) | 20 % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 372

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|--|--------|----|------------|
| 主な取組 | すぎなみ景観ある区マップの増刷 | 43,500 | 部 | 287 |
| | 寄附趣意書の増刷 | 5,400 | 部 | 388 |
| | 休憩所等の維持管理 | 2 | 所 | 220 |
| | 大田黒公園周辺地区景観まちづくりニュースの発行 | 5,000 | 部 | 200 |
| | その他 (杉並景観録 (第26号) の発行ほか) | | | 4,300 |
| 事業実績 | <p>杉並区全域を9地区に分けて作成した「杉並景観ある区マップ」を43,500部増刷、「杉並景観録」(第26号) は17,500部作製し、町会の回覧板を活用して周知しました。荻外荘復原・整備の寄附金拡大のため、寄附趣意書を5,400部増刷しました。うち400部は法人への寄附呼びかけを強化した改訂版です。荻外荘の機運醸成の取組として、多くの見学者が訪れる大田黒公園秋のライトアップに合わせて荻外荘の建物内一部公開イベント等を行い、荻外荘復原・整備のPRと、寄附を通じた支援の呼びかけを行いました。</p> | | | |

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

| | |
|--|---|
| 事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など) | <p>事業開始当初から景観の普及啓発を主な事業として取り組んできましたが、平成21年度に景観行政団体となり、平成22年6月から杉並区景観計画の運用を開始し、景観法に基づく届出制度等による景観づくりを始めました。平成28年6月に社会情勢の変化等を踏まえ、杉並区景観計画及び杉並区景観条例の一部を改正しました。平成28年に国史跡に指定された荻外荘は、令和6年12月の史跡公園としての公開を目指しており、令和4年度からは復原・整備工事に着手予定です。復原・整備に対し、日本全国よりこれまで以上賛同・寄附を集めながら進めます。</p> |
| 事業の今後 (3~5年) の予測と方向性 | <p>区民、事業者が自ら景観に関心を持ち、積極的に景観計画に取り組むことで杉並の面影を伝える貴重なみどりなどの景観要素を守り、みどり豊かな美しい住宅都市を形成していきます。荻外荘の復原・整備については、令和4年度から工事に着手し、令和6年12月に公開予定です。荻外荘は国指定史跡のため、公開後は、区民のみならず日本全国の幅広い個人、団体等の一般の来園はもとより、貸し切り利用等も視野に入れ、積極的に活用される史跡公園を目指します。</p> |
| 計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等) | <p>景観録については17500部作成し、町会の回覧版に載せることで、より多くの人に読んでもらう機会を作ることができました。</p> |
| 評価と課題 | <p>景観録等の発行により、美しい景観形成に関する区の取組を周知しました。特に、大田黒公園周辺地区景観まちづくりニュースでは、荻外荘復原・整備の機運醸成イベントの開催案内を地域限定で掲載しました。今後は、景観形成・維持の重要性をわかりやすく伝えられるトピックを、当該地域内の情報に限らず収集していきます。</p> <p>荻外荘の復原・整備については、新型コロナウイルス感染拡大で、限られたイベント開催の中で機運醸成・寄附の呼びかけを実施しました。令和3年度からの整備工事着手に向けて、荻外荘現地でのイベントのみに頼らない、日本全国に届くような機運醸成を図ります。</p> |

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-------------------|---|------------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し (改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>今後区内の景観形成の核の一つとなる荻外荘の復原・整備について、史跡公園としての整備費を令和2年9月時点で約11億5千万円と見込んでいるのに対して、現時点での寄附総額は約2,300万円にとどまっています。寄附件数自体も伸び悩んでいますが、特に、国指定史跡である荻外荘に対して、区外の寄附件数は全体の3割から4割で横ばいが続いています。日本全国の歴史・建築等に理解のある方々に届くような機運醸成のため、全国展開している雑誌への記事掲載等によって事業の情報発信を図っていきます。</p> | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00368)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------------------|--------|----|------------|----|----|---------|------|----------------------|---------|-----|-----|------|-----|
| 事務事業名称 | 都市再生事業 | | | | 款 | 05 | 項 | 01 | 目 | 02 | 事業 | 007 | 整理番号 | 376 |
| 現担当課名 | 市街地整備課 | | 係名 | 荻窪まちづくり担当係 | | | 連絡先電話番号 | 3382 | | 昨年度整理番号 | 374 | | | |
| 上位施策No・施策名 | 06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり | | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | |
| 事業開始 | 平成23年度 | 実行計画事業 | 目標 | 02 | 施策 | 06 | 計画事業 | 01 | 主要事業 (区政経営報告書掲載事業) | | | | | |
| 令和 2年度担当課名 | 市街地整備課 | | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | |

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

| | | | |
|-------------------------------|--|-----------|---|
| 対象 | 荻窪駅周辺地区 | 根拠法令等 | (1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区まちづくり基本方針、杉並区まちづくり条例 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | ○区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺地区について、南北地域間の分断解消と都市機能の更なる充実を図るため、「荻窪駅周辺まちづくり方針」に基づき、区民・事業者等と協力して都市再生事業の取組みを推進する。 | 活動指標 | 地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数 |
| 活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | ○「荻窪駅周辺まちづくり方針」の具体化に向け策定した「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」を推進した。 ○公共交通の乗換経路の改善整備に向け、連絡協議会の下部組織として案内・誘導サイン等に関する分科会を設置し、交通事業者と意見交換を行い、「荻窪駅周辺サイン整備計画中間まとめ」を作成した。 ○地域の方々がひとつになり、統一感を持ってまちづくりを推進していくために荻窪的デザインのコンセプトを考えるワークショップを開催した。 | 指標名 (1) | 普及啓発活動等の回数 |
| | | 指標名 (2) | 荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行 |
| | | 成果指標 | 駅周辺まちづくり計画等の策定数 |
| | | 指標名 (1) | 平成23年度からの累計策定数 |
| | | 指標名 (2) | |
| | | 指標説明 | |

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

| 区分 | 単位 | 平成30年度実績 | 令和元年度 | | 令和 2年度 | | 令和 3年度計画 | 令和 2年度対計画比 (%) | 令和 2年度予算執行率 (%) | |
|---------------------------|-----------------------|-----------|-----------|---------|------------|---------|----------|---|-----------------|--|
| | | | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | | | | |
| 活動指標 (1) | 1 回 | 24 | 24 | 56 | 38 | 48 | 40 | 126.3 | 95.3 | |
| 活動指標 (2) | 2 回 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 100.0 | | |
| 成果指標 (1) | 3 件 | 2 | 4 | 3 | 5 | 3 | 3 | 60.0 | | |
| 成果指標 (2) | 4 | | | | | | | | | |
| 事業費 | 5 千円 | 14,778 | 16,262 | 14,256 | 8,469 | 8,072 | 7,171 | 特記事項 | | |
| (内) 投資的経費等 | 6 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 令和 2年度は、クールスポット整備工事を行っていないため、令和元年度に比べ事業費が減少しています。 | | |
| (内) 委託費 | 7 千円 | 12,182 | 13,137 | 11,336 | 5,683 | 5,550 | 3,719 | | | |
| 職員数 | 8 人 | 2.47 | 3.00 | 3.38 | 3.00 | 3.23 | 3.00 | | | |
| 上記以外の職員 | 9 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | |
| 人件費 | 10 千円 | 20,812 | 25,278 | 29,467 | 26,154 | 27,465 | 25,509 | | | |
| 上記以外の職員 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 総事業費 (5+10+11) | 12 千円 | 35,590 | 41,540 | 43,723 | 34,623 | 35,537 | 32,680 | | | |
| 単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1) | 13 円 | 1,482,917 | 1,730,833 | 780,768 | 911,132 | 740,354 | 817,000 | | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 14 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 国からの補助金等 | 15 千円 | 2,300 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 都からの補助金等 | 16 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | その他の補助金等 | 17 千円 | 0 | 1,445 | 1,039 | 0 | 2,270 | 0 | | |
| | 特定財源計 (14+15+16+17) | 18 千円 | 2,300 | 1,445 | 1,039 | 0 | 2,270 | 0 | | |
| 差引：一般財源 (12-18) | 19 千円 | 33,290 | 40,095 | 42,684 | 34,623 | 33,267 | 32,680 | | | |
| 受益者負担比率 (14 ÷ 12) | 20 % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 376

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|---|--------|----|------------|
| 主な取組 | 荻窪駅周辺サイン整備計画作成等支援業務委託 | 1 | 件 | 4,994 |
| | 荻窪的デザインのコンセプトを考えるワークショップ運営業務委託 | 1 | 件 | 248 |
| | 荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行 | 20,700 | 部 | 247 |
| | その他 (管理経費、消耗品購入費ほか) | | | 2,583 |
| 事業実績 | <p>「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」の取組として、荻窪駅周辺の公共交通の乗換経路の改善整備に向け、案内・誘導サイン等に関する分科会を設置し、「荻窪駅周辺サイン整備計画中間まとめ」を作成しました。「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」の取組として、地域の方々や荻窪について考えるためのワークショップを開催しました。また、荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行やパネル展を開催し、荻窪駅周辺まちづくりに関する取組の普及・啓発活動を行いました。</p> | | | |

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

| | |
|--|---|
| 事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など) | 区内最大の交通結節点荻窪駅周辺のまちづくりに取り組み、魅力を高め、杉並全体を牽引していくことで、住宅都市としての発展を目指していく事業として、地域の特徴と課題を明らかにしました。地域住民の方々より「荻窪駅周辺地区まちづくり構想 (平成27年) 」の提案を踏まえ、まちの将来像・目標を定め、テーマ別、エリア別に実現に向けた取組を示した「荻窪駅周辺まちづくり方針 (平成29年) 」を定めました。その実現を図るために「荻窪駅周辺都市総合交通戦略 (平成31年) 」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案 (令和2年) 」の策定をしました。また、鉄道や幹線道路等による南北分断の解消や、駅及び駅周辺の交通機能や利便性の向上などが挙げられる一方、良好な住環境については、維持・保全を求める声も多くあります。 |
| 事業の今後 (3~5年) の予測と方向性 | 「荻窪駅周辺都市総合交通戦略 (平成31年) 」については、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた交通戦略の見直しを実施し、社会情勢に合わせた取組の推進を行います。「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案 (令和2年) 」については、令和6年の (仮称) 荻外荘公園の開園に向け、荻窪にふさわしいロゴマークの作成、案内サインの整備等を行って参ります。南北分断の解消と都市機能の更なる強化については、駅前大規模商業施設の機能更新時期や周辺街区での共同建替えなどの機会を捉え、中長期的な取組として進めて参ります。 |
| 計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等) | 活動指標の実績は、荻窪まちづくり会議への出席をはじめ、地元住民や各種団体、関係事業者等とリモート会議など積極的な意見交換を行いました。また、普及啓発活動として、まちづくりニュースを発行しました。成果指標の実績は、「荻窪駅周辺都市総合交通戦略 (平成31年) 」の施策の一つである「わかりやすい案内・誘導サインの整備」に取り組むため作成した、「荻窪駅周辺サイン基本ルール (案) (令和2年) 」を踏まえ、「荻窪駅周辺サイン整備計画中間まとめ」を作成しました。 |
| 評価と課題 | 「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」の取組としては、「荻窪駅周辺サイン整備計画中間まとめ」を作成しました。一方で、コロナ禍の影響により、整備対象となるサインの選定では、当初想定していた以上に時間を要することが見込まれています。今後は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、サインの整備を推進します。 |

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-------------------|---|------------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 拡充 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し (改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」の推進のため、荻窪地下道ギャラリーの整備、商店街における交通課題等の共有・機運の醸成のためのワークショップ運営に関する業務委託を行います。また、社会情勢に合わせた取組の推進のため、コロナ禍における荻窪駅周辺の交通状況の調査に関する業務委託を行います。</p> <p>令和6年の (仮称) 荻外荘公園の開園に向け、「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」の推進を行います。地域のムードを盛り上げ、地域の方々が一歩となり、統一感を持ってまちづくりを進めるため、荻窪の地域ロゴマークPRイベントの開催を行います。また、回遊性の向上を図るため、ICT等を活用したまち案内の実証実験を行います。</p> | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00369)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------------------|--------|----|-------|----|---------|------|----|----------------------|---------|-----|-----|------|-----|
| 事務事業名称 | 多心型まちづくりの推進 | | | | 款 | 05 | 項 | 01 | 目 | 02 | 事業 | 008 | 整理番号 | 377 |
| 現担当課名 | 市街地整備課 | | 係名 | 拠点整備係 | | 連絡先電話番号 | 3383 | | | 昨年度整理番号 | 375 | | | |
| 上位施策No・施策名 | 06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり | | | | | | | | 予算事業区分 | 既定事業 | | | | |
| 事業開始 | 昭和44年度 | 実行計画事業 | 目標 | 02 | 施策 | 06 | 計画事業 | 02 | 主要事業 (区政経営報告書掲載事業) | | | | | |
| 令和 2年度担当課名 | 市街地整備課 | | | | | | | | 事業評価区分 | 一般 | | | | |

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

| | | | |
|-------------------------------|---|--|--|
| 対象 | 区民及び駅周辺地域来訪者 再開発事業などの民間再開発を行おうとする者 鉄道事業者 | 根拠法令等 (1) (2) | 都市計画法、都市再開発法 |
| 事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) | 駅周辺地域を中心に、地域特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進める。 民間再開発事業等を支援する。 | 活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) | 駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数 駅周辺まちづくりに関するニュース等の発行回数 |
| 活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) | ハード施策とソフト施策の連携を強化し、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。 まちづくりの相談や指導を通して、地権者の組織化等の活動を支援する。 助成制度を活用し、民間再開発事業の活動を支援する。 | 指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明 | 駅周辺まちづくり方針等の策定数 |

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

| 区分 | 単位 | 平成30年度 | 令和元年度 | | 令和 2年度 | | 令和 3年度 | 令和 2年度 | 令和 2年度 |
|---------------------------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|---|-----------|
| | | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 (目標値) | 実績 | 計画 | 対計画比 (%) | 予算執行率 (%) |
| 活動指標 (1) | 1 回 | 7 | 5 | 10 | 5 | 6 | 5 | 120.0 | 44.7 |
| 活動指標 (2) | 2 回 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 150.0 | |
| 成果指標 (1) | 3 件 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.0 | |
| 成果指標 (2) | 4 | | | | | | | | |
| 事業費 | 5 千円 | 9,716 | 16,507 | 12,024 | 17,546 | 7,849 | 12,629 | 特記事項 | |
| (内) 投資的経費等 | 6 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 各地域の取組において、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域住民等との直接対話が困難になったことで、予定していた懇談会等の開催が延期になるなど影響があり、取組内容の変更を行いました。 | |
| (内) 委託費 | 7 千円 | 8,446 | 13,139 | 11,489 | 15,363 | 7,106 | 10,914 | | |
| 職員数 | 8 人 | 3.26 | 2.00 | 2.07 | 2.67 | 2.82 | 3.00 | | |
| 上記以外の職員 | 9 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | |
| 人件費 | 10 千円 | 27,469 | 16,852 | 18,046 | 23,277 | 23,978 | 25,509 | | |
| 上記以外の職員 | 11 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費 (5+10+11) | 12 千円 | 37,185 | 33,359 | 30,070 | 40,823 | 31,827 | 38,138 | | |
| 単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1) | 13 円 | 5,312,143 | 6,671,800 | 3,007,000 | 8,164,600 | 5,304,500 | 7,627,600 | | |
| 財源 | 受益者負担分 | 14 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 国からの補助金等 | 15 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 都からの補助金等 | 16 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | その他の補助金等 | 17 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 特定財源計 (14+15+16+17) | 18 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 差引：一般財源 (12-18) | 19 千円 | 37,185 | 33,359 | 30,070 | 40,823 | 31,827 | 38,138 | | |
| 受益者負担比率 (14 ÷ 12) | 20 % | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | | |

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 377

| | 内 容 | 規模 | 単位 | 事業費 (千円) |
|------|--|----|----|------------|
| 主な取組 | 富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針策定支援業務委託 | 1 | 件 | 3,289 |
| | 駅周辺まちづくり (特別区道2096—1号線等検討業務委託) | 1 | 件 | 1,532 |
| | 中杉通り沿道まちづくり検討支援業務委託 (令和2年度) | 1 | 件 | 1,518 |
| | 西荻窪駅周辺まちづくり懇談会運営等支援業務委託 | 1 | 件 | 961 |
| | その他 (事務費ほか) | | | 549 |
| 事業実績 | <p>阿佐ヶ谷駅等周辺では、歩行者や自転車空間の改善に向けて検討を進めるとともに、交通管理者や道路管理者との情報共有を図りました。西荻窪駅周辺では、まちづくり方針の策定に向けた取組として、オンラインを活用した懇談会の開催やまちづくりだよりによる情報発信を行いました。富士見ヶ丘駅周辺では、まちづくり方針の策定に向けた取組として、対象地域において、今後のまちづくりに関するアンケート調査を実施しました。ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくりでは、庁内連絡会を開催し、地域資源の活用や地域課題への対応等について情報共有を図り、取組を実施しました。</p> | | | |

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

| | |
|--|--|
| 事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など) | <p>事業開始当初は、駅舎の橋上化や市街地再開発事業等に代表される駅周辺整備といったハード施策事業を中心に取り組んできました。</p> <p>現在は、交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした商業の活性化や生活の利便性向上を図り、にぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進めています。</p> <p>また、様々な地域資源の活用について検討し、ハード施策とソフト施策の連携を図りながら、多心型まちづくりの推進に取り組んでいます。</p> <p>なお、懇談会等では、まちづくりの事業に対して、安全・安心やくらしやすさを求める意見などがあります。</p> |
| 事業の今後 (3~5年) の予測と方向性 | <p>今後も駅周辺のまちの特長や課題等を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進する必要があります。</p> <p>そのため、まちの将来像やその実現に向けた取組の方向性を明らかにする、まちづくり方針の策定を目指します。</p> <p>また、まちづくり方針策定後は、その実現に向けた取組を推進していきます。</p> |
| 計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等) | <p>駅周辺まちづくりの取組として、オンラインを活用した懇談会等の開催やまちづくりだよりの発行を行い、活動指標を達成しましたが、まちづくり方針の策定には至りませんでした。</p> <p>今後も引き続き懇談会等を開催し、地域のご意見を伺うとともに、まちづくりだよりの発行による情報発信を行い、まちづくり方針の策定を目指します。</p> |
| 評価と課題 | <p>阿佐ヶ谷駅等周辺では、これまでの取組を踏まえ、商店会等の地元関係者の意向を把握しつつ、課題の共有を図りながら、歩行者や自転車空間の改善に向けて検討を進めます。西荻窪駅周辺では、駅前広場を含む都市計画事業 (補助132号線) など、まちづくり方針策定の前提となる事項に関して、地域住民等に向けて改めて丁寧に説明し、理解を深めながら取組を進めていきます。富士見ヶ丘駅周辺では、令和2年度に、方針策定に向けて地域の声を聴取するために2回目のオープンハウスを予定していましたが、コロナ禍等の影響により開催を見送りました。そのため、策定スケジュールを見直し、令和3年度中のまちづくり方針策定に向けて、まちの将来像を地域の方々と共にしながら更なる検討を進めます。</p> |

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

| | | |
|-------------------|--|------------------|
| 予算の方向性 (見直しの視点) | I 事業コストの方向性 | 現状維持 |
| | II 事業の改善の方向性 | 手段・方法の見直し (改善) |
| 予算の方向性の理由・内容 | <p>阿佐ヶ谷駅等周辺では、中杉通り沿道の安全・快適で魅力的なまちづくりの具体化に向けて、歩行者や自転車空間の改善に取り組んできました。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた歩行者や自転車空間のあり方を研究するため、交通量調査の実施等を検討します。</p> <p>西荻窪駅周辺では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインを活用した懇談会等の開催を行うとともに、さまざまな地域住民等の意見を把握し、まちづくりの取組への理解を深めながら、まちづくり方針の策定を目指します。</p> <p>富士見ヶ丘駅周辺については、地域の動向を踏まえて、まちづくり方針の実現に向けた取組を進めます。</p> | |